

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

ーサインポストー

NO. 8



おせち料理、大好きです。三が日くらいは、おせち料理だけでも充分です。

おいしく食べながら、「今年のお正月はいいお天気だね」「去年のお正月はこうだったよね」なんていいかげんな会話が、けっこう自分の仕切り直しになっていて。“一年の計は元旦にあり！”って言われると「確かにそうかもしれないなあ」と思います。ともあれ、また新しいスタートですね。

スタートと言えば、どこかにお出かけするときの子ども表情ってどうですか？これからどこに行くか、何でわかるみたいですか？もちろん、行き先を話してわかるときは、納得もしてくれるでしょうが、お話だけでは、まだちょっとよくわからない子は、何かを手がかりにしているはずですよ。

きっと、まずは、カバンなどの持ち物、お母さんの洋服の感じ、朝のせわしなさのように習慣づいているリズムもあるでしょう。それでも、出かけ先の確信が得られなくて、どこかキョロキョロしているのでは？

自分の家の車で出発して、道順を見ながら「なるほど～」と安心することもあるでしょう。家の前まで、見慣れた人が見慣れたクルマで迎えに来て、「あっ！おじさん(?)か。やっぱり“あんず”なんだね。おはよう！」と、笑顔になる子もいます。わかりやすい“道しるべ”（サインポスト）があると、誰だって安心ですね。帰り道は落ち着いたもんです。多くの場合、いちばんの HOME に帰りますから、わかりやすいですね。安心印の居眠りも気持ちよいはずですよ。

放デイの子ども達を学校に迎えに行くときも、私たちを見つけ、遠くから手を振って走ってきてくれる子がほとんどです。学校の先生は、子ども達に“次”を知らせるのがとても上手なんです。まちがいなく100%その気になって昇降口を飛び出してきましたから。

施設や学校は、タイムスケジュールが決まっています、わかりやすい環境があり、わかりやすく知らせようという取り組みがあり、わかりやすいグッズを事前に準備しておくことができます。学びの場であり、育ちを支援していく場ですから当然です。でも、お家は違いますよね。

予定は家族の都合で変わります。出がけにトイレに入ったりしたら、それだけでスケジュールは変わります。天気によって左右されます。そして何故だか「早くしなさい！」といつも言われます。遊ぶ場所で食事もします。おもちゃも並べます。テレビはいつでもつけられます。いろいろな物にいつでも手が届きます。決まりを作っても、いちばんルールがないのが HOME です。(だからこそ、最高の居心地なんですけど…)

なので、お家の方は工夫しています。“ここに行くときにはこのバッグ”“これを飲むときにはこのコップ”“どっちにしたいかは写真やカードの2択で選びやすくしたり”“何かを知らせるときは言葉だけでなくグッズも一緒に見せて”“安心のお守グッズと、ごまかしグッズはバッグに忍ばせ”“道順も行く先によって決めてみたり、わざと替えてみたり”その知恵と思いはいつも脱帽です。

このひとつひとつの工夫は、小さなことかもしれませんが、子どもにとっては確かなサインポスト（道しるべ）になっています。手間をかけずに無理なく継続できる工夫、新春第一弾は何にしますか？くらべっこしましよ。楽しいですよ。(H29. 1) K

